

科目ナンバリング		U-LAS04 10006 LJ46							
授業科目名 <英訳>	心理学II Psychology II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 永田 素彦				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	火2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
心理学は、人間の行動や意識についての科学である。心理学はきわめて幅広い分野だが、大きく自然科学的心理学と人間科学的心理学に区別される。本講義では、人間の行動や意識を、個体としての個人の性質としてではなく、さまざまな「関係性」の産物として理解する人間科学的心理学を取り上げ、その基本的な考え方を学ぶ。									
【到達目標】									
人間科学としての心理学の基本的な考え方を理解する。									
【授業計画と内容】									
<p>1．イントロダクション 心理学の歴史を振り返り、自然科学的心理学と人間科学的心理学の区別を概説する</p> <p>2 - 4．アフォーダンス 動物と環境の関係性に基づく知覚の理論として、J.ギブソンが提唱したアフォーダンス理論を紹介する。</p> <p>5 - 8．社会文化的アプローチ 人間の心の性質(発達や学習)が、本質的に社会・文化・歴史的状况に埋め込まれていることを強調する理論的立場について説明する。 ・ヴィゴツキーの発達論 ・状況論、特に正統的周辺参加論</p> <p>9 - 11．自己・アイデンティティ 個人主義的な自己観に代えて、自己・アイデンティティを関係性の産物としてとらえる理論を紹介する。 ・文化的自己観 ・物語(ナラティブ)としての自己</p> <p>12 - 14．アクションリサーチ 心理学の重要な方法論として、アクションリサーチを概説する。アクションリサーチは、研究者と研究対象(当事者)の協同を通じて、現場(フィールド)を改善し、知識を産出する。K.レヴィンとP.フレイレの古典的な実践研究例を紹介し、人間科学としての心理学の研究アプローチを概説する。</p> <p>15．フィードバック</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
定期試験(筆記)により評価する(100点満点)。									
----- 心理学II(2)へ続く -----									

心理学II(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に紹介する参考書を、興味と必要に応じて、予習・復習に活用してください。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]